

平成 28 年 4 月 12 日

管財課

市役所内線番号 2370・2374

電話（ダイヤル）0742-34-4724

庁舎耐震診断について

1 耐震診断の目的

奈良市では、昭和 52 年に現庁舎（中央棟・東棟・西棟）を建築し、平成 9 年度及び 10 年度に、老朽化が指摘され耐震診断を実施しました。その際も脆弱性が指摘されており、今回、より現実的にどのように対処するのかの方針を決定するために、株式会社 小西設計に 18,252,000 円で委託し、耐震診断を行いました。

2 診断の概要

以下の内容で本庁舎耐震診断を業務委託により実施しました。平成 27 年 12 月に耐震診断判定委員会から判定書の交付を受けました。

○業務期間 平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

○調査 目視、沈下、コンクリートコア抜き調査、構造部材調査

3 耐震診断結果 ※最小値（前回調査値）

	X（東西）方向		Y（南北）方向	
	Is 値	CTU・SD 値	Is 値	CTU・SD 値
中央棟	0.20 (0.33)	0.22 (0.60)	0.18 (0.38)	0.21 (0.83)
東棟	0.54 (0.32)	0.38 (0.48)	0.75 (0.43)	0.78 (0.64)
西棟	0.03 (0.56)	0.01 (2.45)	0.15 (0.46)	0.11 (1.19)

参 考

前回実施理由・・・平成 7 年 12 月に「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成 7 年法律第 123 号）」が施行され、法律で耐震診断の上必要な改修を行うことが義務づけられたため、その法律に従って耐震安全性の検討を目的に実施した。

1) Is 値（構造耐震指標）とは・・・

建物の強度、靱性（粘り強さ）、形状やバランス、経年劣化などの耐震性能に大きく関わる要素を総合的に判断する指標。この値が大きいほど耐震性が高い。0.3 未満は大規模な地震により倒壊の危険性が高い建物とされ、0.6 以上は倒壊、又は崩壊する危険性が低いとされている。さらに庁舎の場合、震災後も庁舎機能が保持できるよう基準値に 1.25 の割り増しをした 0.75 を確保することが求められる。

2) CTU・SD 値（保有水平耐力指標）とは・・・

地震による水平方向の力に対し、それに対応する建物の強さを表す数値で、値が高いほど地震に強い建物とされ、0.3 以上である建物は安全とされる。上記の Is 値が高い場合でも、この値が低い場合は建物の安全性は保たれない。
